

## 福島小学校・上福島小学校 校区変更実施に向けた説明会（会議要旨）

### [開催概要]

- ・開催日時 令和7年2月26日（水） 18:30～19:45
- ・開催場所 福島小学校 講堂
- ・参加者 地域・保護者の方々 20名
- ・説明者及び関係者
  - 【福島区役所】工藤区長、北野副区長、麦田子育て教育担当課長、黒瀬窓口サービス課長代理、辻教育担当課長代理 外4名
  - 【教育委員会事務局】山東学校適正配置担当課長、岡永学校適正配置担当課長代理、山本指導主事、友永学事課担当係長
  - 【福島小学校】土井校長
- ・議事 福島小学校・上福島小学校の校区変更案について
- ・議事要旨
  - 福島区役所子育て教育担当課長から、福島小学校・上福島小学校の校区変更案について説明。
  - 質疑応答の概要は次のとおり。

### 【主なご質問と回答】

項番	ご質問	回答
1	<p>・校区変更した場合、福島小学校の児童が増えていって、上福島小学校は減り続けている</p> <p>・福島2丁目の関電病院跡地にはタワーマンションが建設予定で福島小学校の児童のさらなる増加が見込まれる</p> <p>・福島5丁目が福島小校区になると国道2号線を横断する必要があり、小さい子どもには危険</p> <p>以上のことを勘案しても校区を元に戻すことは適正なのか。福島5丁目だけは上福島小校区に残すなどの議論はしたのか。</p>	<p>校区変更した場合、両校とも12学級以上となり適正規模に収まる見込みで、どちらかの学校が極端に増減するという推計にはなっていません。また、今後当該タワーマンションが建設されることを加味しても、現在の福島小学校の教室数で足りると見込んでいます。通学路については、今後開催予定の学校適正配置検討会議でしっかりと安全対策を検討していきます。</p>
2	<p>資料には、在校生は「希望すれば校区変更実施後も上福島小学校に通うことができる」とあるが、資料6ページの「校区変更した場合の推計」は、すべての児童が新校区の学校に就学した場合、もしくは、希望して旧校区の学校に残ることを想定した場合、どちらの数字か。</p>	<p>前提として、令和9年度以降の新入生から校区変更の影響を受けるものとして算出しています。令和8年度までの在校生について、すべての児童が希望して旧校区（上福島小学校）に残ることを想定した推計です。</p>

3	<p>子どもが学校にいる時間帯に大規模災害が発生した場合、校区変更によって学校の対応が何か変更されることはあるか。</p>	<p>現在も学校では、南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練とともに、保護者にもご協力いただき引き渡し訓練を実施しております。大規模災害が発生した際には、子ども達がどこから通っているかに関わらず、学校としては保護者の方と連絡が取れるまで責任を持ってお子様をお預かりし、確実に引き渡しをさせていただきます。また、安心してお子様をお預けいただけるよう、令和9年度の校区変更に向けて、災害対策マニュアルや避難訓練のあり方を見直し、ブラッシュアップしてまいります。</p>
4	<p>福島小学校のプレハブ校舎は校区変更後も引き続き使用することだが、補強等行わなくても大丈夫なのか。</p>	<p>建築基準法に基づいて建てられた建物のため問題ありません。</p>
5	<p>福島5丁目地域は、大きな道路を渡って福島小学校に通うよりも、距離も近い上福島小学校に通う方が安全ではないか。</p>	<p>通学路については、学校適正配置検討会議で危険箇所等についてしっかりと検討し、警察等関係機関とも協議を行い、安全な通学路となるよう進めて参ります。</p>
6	<p>単学級の環境にあることも達にできることは何なのか。適正規模になったらどのようなことをするつもりか。また、児童数の増減により今後も校区変更を繰り返す可能性があるのならば、上福島小学校に福島小学校を統合すればよいのではないか。そうすれば単学級の問題もなくなる。</p>	<p>単学級など小規模校については、学校がまとまりやすい、子ども一人ひとりの状況を把握しやすいといったメリットがある一方、クラス替えができず人間関係が固定化されるなどの課題があります。大阪市では、小学校は12学級から24学級を適正規模として、適正配置を進めています。敷地面積の大きい上福島小学校に福島小学校を統合した場合でも、教室が不足するため校舎の増設が必要になります。統合による児童数の増加もあり、1人当たりの運動場の面積が大幅に狭くなるといった課題もあります。福島小学校と上福島小学校の適正化を行うには、この校区変更が最適な方法であると考えています。</p>